

# 平成 27 年度放射線安全取扱部会年次大会

## (第 56 回放射線管理研修会) アンケート調査のまとめ

### 平成 27 年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成 27 年 11 月 26 日 (木), 27 日 (金) の 2 日間にわたって, 平成 27 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 56 回放射線管理研修会) が金沢市文化ホール (金沢市) で開催された。年次大会実行委員会は, 毎年, 放射線安全取扱部会及び年次大会の運営と内容の充実を図るために, アンケートを実施している。今回は, 参加登録者数 422 名のうち 183 名 (43.3%) から回答が寄せられたので, その結果を報告する。

#### 1 年次大会全体について

アンケートはプログラムごとに 5 段階 (5 点=良い, 1 点=悪い) で評価し, さらに具体的な感想・コメント等も記入していただいた。有効回答率は, アンケート総数 (183 名) に対する割合とした。また,

図 1 に各プログラムの評価点 (平均点) を, 図 2 に各プログラムの評価の割合を示す。

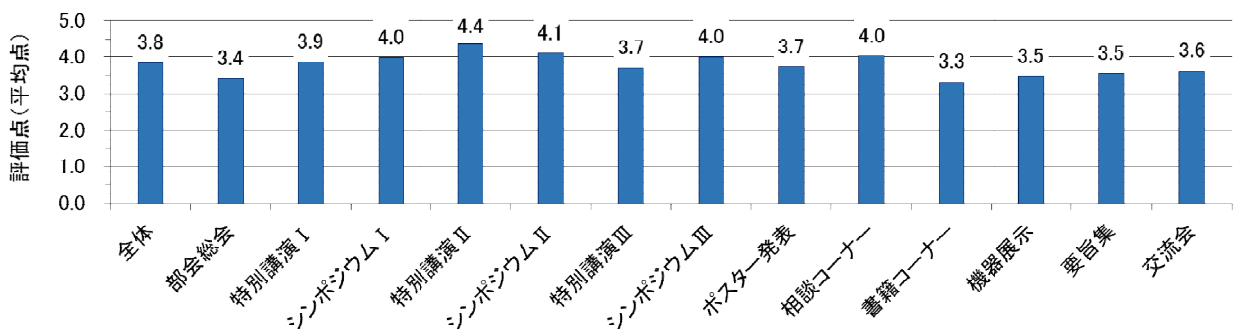


図1 年次大会各プログラムの評価点 (平均点)

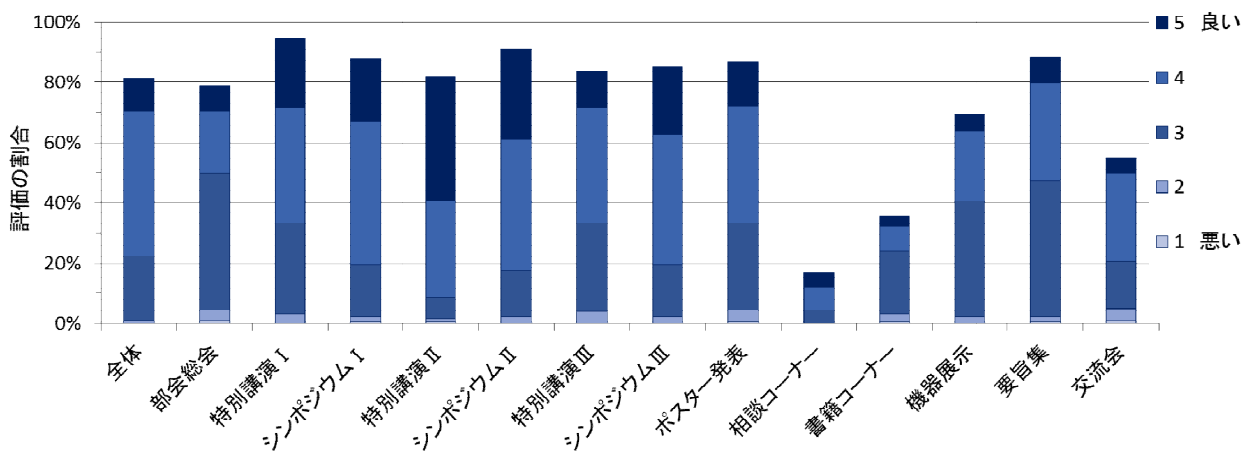


図2 年次大会各プログラムの評価の割合  
(「無回答」, 「不参加」は集計していない)

年次大会全体としての評価点は3.8であり、各プログラムの評価点も3.3～4.4と全体を通して良好な評価であった。全体のコメントでは、「初めての参加でしたが、色々勉強になりました。来年も参加できると良いと思いました」、「大変興味深いプログラムで有意義でした」、「シンポジウムⅢのような放射線管理上の実務的なテーマを望む」など肯定的な意見が寄せられた。一方で「毎年アンケートにコメントしても、改良されていない」、「会費・交流会の費用が上がったが、説明なく残念」、「講演が開始されても、ホール扉が開放されたままで、しばらくホール外の話し声がうるさい状況があった」という指摘もあり、年次大会を運営するにあたって実行委員会の配慮が足りなかったことを反省し、今後の改善に努めたい。

### 1-1 部会総会

全てのプログラムの中で不参加の割合が18%と最も高く、さらに評価点も3.4と低かった。コメントも「いつも通り（新鮮さが無い）」、「毎年、会場から変更、改善要望が出ているのに、全く反映・改善されていない」といった厳しい意見が寄せられた。また、今回の部会総会において初めて行われた功労表彰についても多数の意見をいただき、「表彰が良かった」といった好意的な意見ばかりでなく、「表彰された方々の功績がどのようなものを披露して欲しかった」、「表彰の手順基準等が周知されていない」など来年度以降、改善すべき点を指摘する意見もあった。

### 1-2 特別講演Ⅰ 放射性同位元素等の規制に係る最近の動向

今回行われたプログラムの中で有効回答率が95%と最も高く、放射線規制室長による講演に対して、参加者の関心が非常に高かったことがうかがえる。また、評価点も3.9と例年よりも高かった。講演内容に関して「原子力規制庁の方の話は分かりやすく、少し身近に感じる事ができた」、「規制の動向が分かって参考になった。会場からの質問、コメントも興味深い内容で、もう少し議論の時間があっても良かった」といった意見もいただいております、会場との質疑応答も含めて高評価となった。

### 1-3 シンポジウムⅠ 核医学による最新診断および治療法（一般公開）

評価点4.0、有効回答率88%と概ね好評であった。「RIを用いた分子標的等の可能性/将来性が伝わってきた」、「最新の技術のお話は勉強になりました」といったコメントから、本シンポジウムが一般公開ということもあり「特に絹谷先生の発表は素人にも分かりやすく勉強になった」、「スライドに英文が多すぎて内容が分かりにくい発表者がいたので一般向けにして欲しい」といったコメントまで幅広い意見をいただいた。

### 1-4 特別講演Ⅱ 歴史と文化のまちづくり（一般公開）

評価点が4.4とプログラムの中で最高の評価であった。「感動しました」、「金沢の歴史が良く理解できました。素晴らしい講演でした」、「前市長さんの経験談を交えた説明がとても興味深く、金沢の歴史を知ることができて良かったです」など、講演内容だけでなく、前市長の人柄も含めた好意的なコメントが多数あった。一方で講演時間を超過したことに対する指摘も5件あり、運営に関して反省すべき点がある。

### 1-5 シンポジウムⅡ メディア・リテラシーを考える

今回の年次大会のメインテーマである「放射能・放射線を正しく発信するには」に最も関係のあるシ

ンポジウムであったためか、評価点が 4.1 であり、有効回答率が 91%と非常に高評価で参加者も多数であった。コメント数も全プログラムの中で最多の 35 件あり、「おもしろい企画であり、勉強させていただいた」、「こうした話を聞いたのは初めてであったので勉強になった」など、新たな切り口での話題を評価するコメントや、「放射線教育の中で“受け手側を考えて”を再検討したい」、「業務従事者の教育訓練の一部に入れたい内容だった」といった、実務で役立つ内容であったというコメントが多数寄せられた。

#### 1-6 特別講演Ⅲ 小動物 PET/SPECT-CT 装置を用いた *in vivo* 動物研究の現状と将来性

評価点は 3.7、有効回答率は 84%であった。近年、注目度がますます増している分子イメージングに関する講演であり、「専門的な内容を分かり易く話していただいたと思います」、「多くの実施例が紹介されていて現状の理解が進んだ」といった好意的な意見がある一方で、「価格が高いため、共同利用の方向か」、「実務から遠いので…」といった分子イメージングの特殊性をうかがわせる意見もあった。

#### 1-7 シンポジウムⅢ 放射線施設改修工事および廃止における注意点

寄せられたコメントは、ほとんどが好評であり、「実例を紹介していただき、大変参考になった」、「実務に直結しており、興味深かった」などであった。また、施設の廃止を予定しているといったコメントも複数寄せられた。予算が限られている現状で、放射線施設の老朽化が進み、参加者も施設の改修や廃止に関して高い関心を持っており、経験者の話を聞く機会を求めていることが分かった。評価点は 4.0 であった。

#### 1-8 ポスター発表

評価点 3.7、有効回答率 87%であった。ポスター発表自体は「非常に興味深く、実際に使える知識を学ぶことができた」、「活発に討論できていた様に思いました」と概ね好評であった。一方で「会場が狭かった」、「発表時間が短かった」のような、会場やプログラムの設定に問題があったという意見が非常に多く寄せられた。

#### 1-9 相談コーナー

相談コーナーを利用した人が少ないため、有効回答率は 17%と低かったが、評価点が 4.0 で、「細かく対応していただき、大変助かりました」といったコメントが寄せられるなど好評であったことが分かる。

#### 1-10 書籍コーナー

評価点 3.3、有効回答率 36%と非常に低かった。参加者の 3 割強しか立ち寄りなかったことがうかがえる。「コーナーの設置場所が受付と同じ並びなので目立たない」、「会場レイアウトに記載が無い」といった意見から分かる通り、設置場所が分かりにくかったことが原因と考えられる。次年度は改善が必要である。

#### 1-11 機器展示

有効回答率が 69%で、参加者の 7 割が立ち寄っていた。「情報収集ができ、有益でした」、「新製品に触れることができて良かった」などのコメントがある一方で、「話を聞いても、レスポンスがあまりよくないブースもあって、そこは残念でした」といったマイナス意見も寄せられた。

## 1-12 要旨集

「シンポジウムもパワーポイント資料があるとありがたい」、「ハンドアウトはできるだけ入手して盛り込んで欲しい」といった要望が複数寄せられた。このような要望は以前から出されており、より良い要旨集とするため、作成段階で更なる検討が必要である。評価点 3.5 であった。

## 1-13 交流会

好意的な意見としては「交流を深める場になっていた」、催し物の「ハーブの演奏や実行委員長によるチェロの生演奏が良かった」といったコメントが多数寄せられた。また、昨年度の反省を活かして、事前登録制にしたことで料理を十分用意することができ、料理の量に対する不満は無かった。マイナス意見としてクロークの混雑、開始時間の遅れ、会場の狭さなど、交流会の段取りに対するご指摘を多くいただいた。不備な点が多数あったことは、実行委員会として反省すべきである。評価点は 3.6 であった。

## 2 放射線安全取扱部会の活動について

### 2-1 興味のあるテーマ、今後の研修会で取り上げてほしいテーマ

参加者が興味のあるテーマとして、10%以上を示したものを図3にとりまとめた。上位5テーマは「教育訓練」、「緊急時の対策」、「廃棄物処理」、「社会貢献」、「主任者の地位」の順であった。その他の自由記述では「廃止手続き」について3件寄せられており、関心の高さがうかがえる。

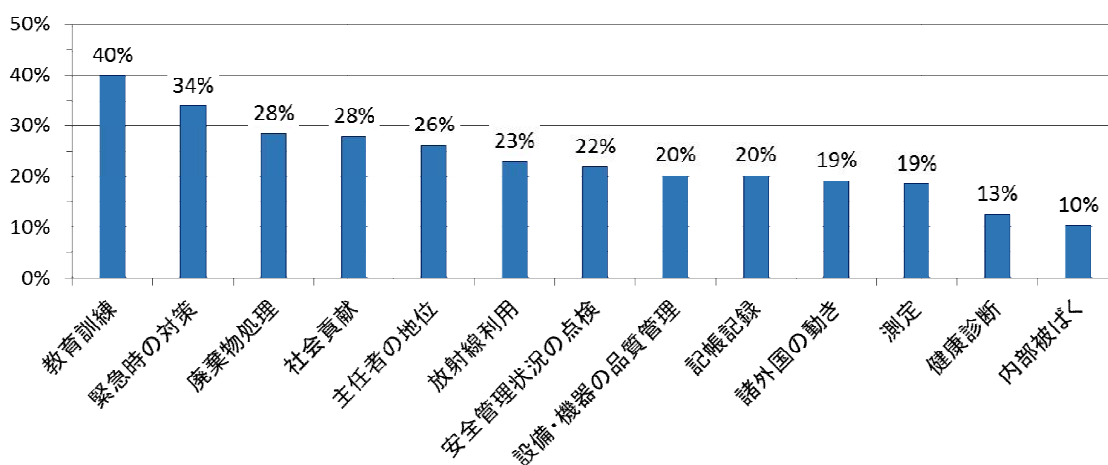


図3 放射線安全取扱部会の活動について、とくに興味のあるテーマ  
(10%以上のみ掲載、複数回答可)

### 2-2 各支部が主催する教育訓練講習会について

開催頻度について、適当 69%、少ない 4%であった。「年2回開催して欲しい」、「開催日が春期に集中している」といった意見が寄せられた。

講習内容について、適切 64%、不適切 1%であった。「医療機関向けの+αを加えていただきたい」というコメントも寄せられた。

### 2-3 年次大会の各支部持ち回りについて

良い 89%、悪い 1%であった。持ち回り開催について概ね賛同が得られているが、「地方で開催する場

合、帰路の交通を考慮した時間にして欲しい」、「交通の便利な所がうれしいです」などの意見の他、「Web上での開催を検討できないでしょうか」といった提案もいただいた。

## 2-4 その他、部会の活動（支部の活動も含めて）について

「経験の浅い RI 施設管理者を対象とした教育・研修会などを開催して欲しい」、「法令変更への対応や許認可関連の対応などに関する情報提供をして欲しい」、「緊急時（火災・地震など）の対応や安全取扱いに関する英語版 DVD を作成して欲しい」といった実務に役立つ活動を望むコメントが寄せられた。また、年次大会について「新しい企画や斬新なアイデアに基づく企画がない」といったご意見もあり、今後の部会活動の参考とさせていただきたい。

## 3 参加者について

### 3-1 性別・年齢

性別は、80%が男性であった。年齢構成は、20歳代が3%、30歳代が20%、40歳代が23%、50歳代が34%、60歳代以上が16%であった。若手が少なく、50歳代以上が半数を占めていた。

### 3-2 所有免状・身分について

複数回答があり、加算して集計した。

所有免状は、第1種主任者86%、第2種主任者5%、薬剤師7%であった。

身分は、事業所長1%、管理職20%、一般職32%、教育・研究職29%、医療従事者9%であった。

### 3-3 主任者選任、アイソトープ協会会員、放射線安全取扱部会会員

主任者の選任状況は、選任66%、非選任29%であった。回答者のうちアイソトープ協会会員が69%で、非会員が26%であり、放射線安全取扱部会への加入率は56%であった。アイソトープ協会の非会員が26%も参加していたので、年次大会がアイソトープ協会をアピールする良い機会であることが分かる。

### 3-4 参加頻度について

参加頻度は、毎年54%、隔年9%、時々19%、初めて14%であった。

## 4 参加者の所属事業所について

### 4-1 事業内容

結果を図4(A)に示す。医療機関が12%、教育機関が45%、研究機関が14%、民間企業が28%であった。

### 4-2 使用形態

87%が許可使用であった。その他は、届出使用が4%、販売業が4%、放射性医薬品製造が3%、機器メーカーが3%であった。

### 4-3 施設

結果を図4(B)に示す。複数回答は、それぞれに加算した。

非密封 RI が52%、放射線発生装置が17%、密封 RI が26%、設計認証が4%、非破壊検査が1%であった。

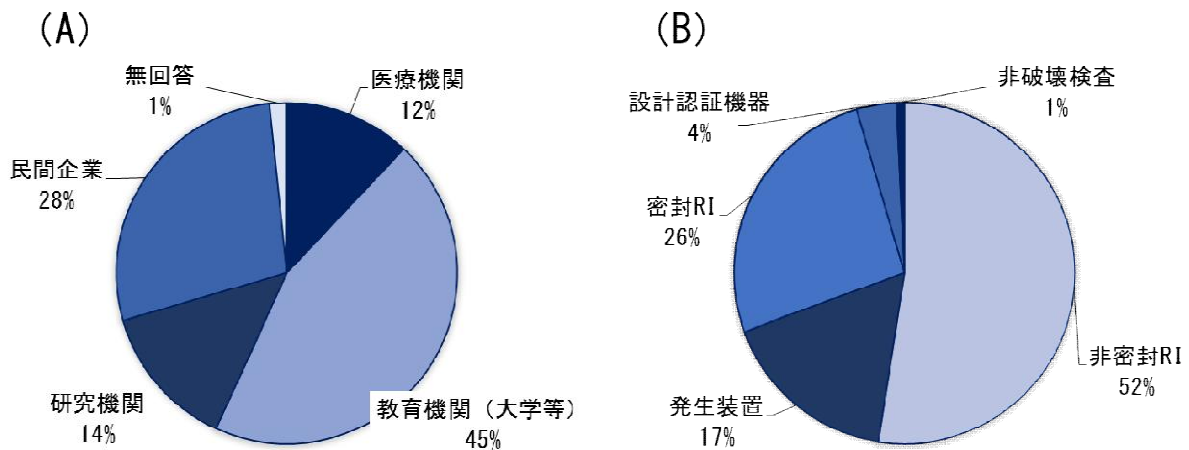


図4 参加者の所属事業所の事業内容（A）と施設（B）の割合

#### 4-4 所在地

北海道が3%、東北が6%、関東が36%、中部が13%、近畿が18%、中国四国が13%、九州が7%であった。中部（金沢市）開催であったにもかかわらず、関東地方からの参加者が多かった。平成27年3月に北陸新幹線が金沢まで開業した影響か。

#### 4-5 放射線業務従事者数

20人以下23%、21～40人16%、41～60人10%、61～80人5%、81～100人7%、101～200人9%、201～300人5%、301～500人3%、501～1000人3%であった。約半数は放射線業務従事者60名以下の事業所であった。

#### 4-6 選任主任者数

0人1%、1人38%、2人23%、3人12%、4名7%、5～10人2%、11名以上が1%であった。

#### おわりに

年次大会2日目は金沢市内では雷が鳴り、あられが降る、冬の到来を感じさせる、この時期の北陸らしい天候の中、多数の方に参加していただき、ありがとうございました。アンケートのコメント欄には、年次大会がスムーズに進行したことへのお褒めの言葉もいただき実行委員一同、安堵しております。ただ、講演中にもかかわらず扉が開放されたままで、ホール外の雑音が入ってきた等、実行委員会の配慮に欠ける部分や、交流会での段取りの悪さなど、準備不足へのご指摘もいただきました。この場を借りてお詫び申し上げます。

紙面の都合上、本稿では紹介しきれない数多くの貴重なコメントをいただきました。皆様のご意見は次回実行委員会に引き継ぎ、また今後の放射線安全取扱部会活動の参考とさせていただきます。参加していただいた皆様、アンケートにご協力いただいた皆様に、実行委員会よりお礼申し上げます。

（黒澤俊人）